

教えること、学ぶこと: 人類学の挑戦

赤ちゃんとのフィールドワーク

アジア・アフリカ地域研究研究科・准教授 高田 明

本研究(科研費・基盤研究(A)「教育・学習の文化的・生態学的基盤:リズム, 模倣, 交換の発達」ほか)は, 「相互行為の人類学」というアプローチからアジア・アフリカ諸国で(1)リズム, (2)模倣, (3)交換に関する養育者-子ども間相互行為のデータを収集し, 子どもの教育・学習が成立する基盤を再考するものである。私たちの研究グループでは, 現在, 以下のような研究を進めている。

サン(クン)のジムナスティック

養育活動におけるリズムの共同的な創造

サン(グイ)のサオ・カム(“あやす方法”)

- グイが乳児をあやすためのニックネーム。
- 通常, 乳児の近い女性親族が行う。
- 乳児との対話を志向している。
- 特定の音学的パターンの反復と変奏が相互行為を快くしている。
(Takada 2005)

間主観性の基盤としての感情

サン(クン)の少女たちのダンス



共同的音楽性における模倣と創造性

人によって育てられたチンパンジーの赤ちゃん

人-チンパンジー間相互行為における相互理解

「思いやり」の実践

行為指示と文化

養育者の要求が受容される条件とは?

要求と物の移動